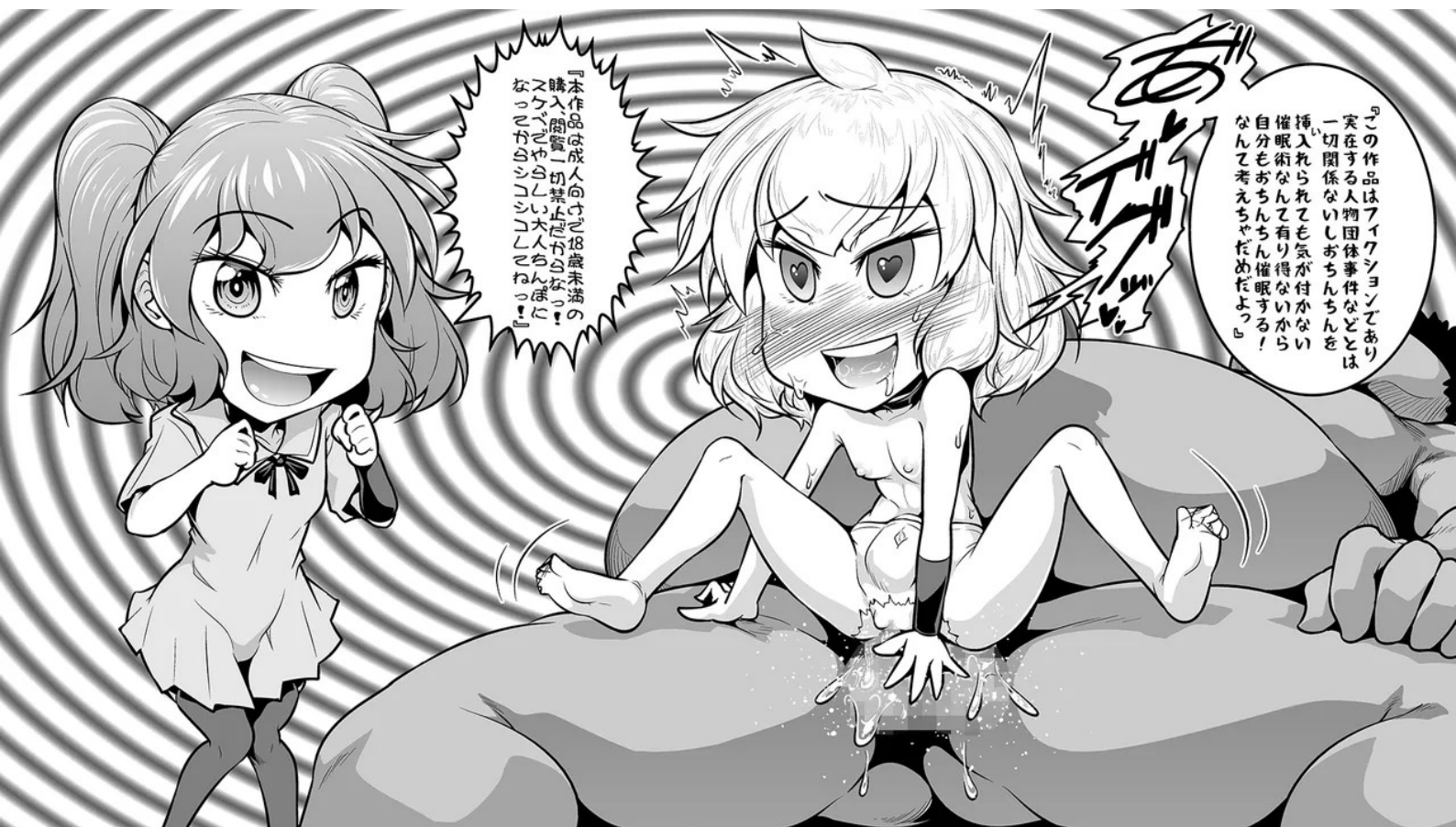






登場人物紹介

居候催眠おじさん
帰るべき場所を失い
天涯孤独で他人の家に
居候する催眠おじさん

生尾 奈帆

通称:生オナホ。
オナホも知らぬピュア両親が
悲劇的な名前をつけてしまった。
情報の溢れる現代社会、誰もが
彼女をオナホと認識していると
言っても過言ではないであろう。
かかるの友人であり、幼少時に
おじさんをニード呼ばわりして
おじさんちんちんに涙させた。

齋見 かかる

居候催眠おじさんによって
母親の胎内にいる時から
催眠をかけ続けられた
被催眠のサラブレッド。
本編である「居候催眠おじさん」では
名前すら出てこなかった催眠被炉淫。













「言っておきますが
弟に何かしたら
私でもさすがに
怒るぞ」

あーッ
グッ

「弟の初腔出し
濃厚ザーメンで
種付けアクメを
キメてしまおう」

パンッ

「おねえちゃん」

「おねえちゃん」

パンッ

「親にも催眠かけて
おいたからこれから
毎日やれるよ弟君」

「お父さんお母さん
見てよ見てコレッ
おねえちゃん僕の
オナホになった！」

「あらあら仲が
いいのねえ」

「姉弟仲がいいのは
「んんん...?
ううん...?」
良い事であるな」
たしかに...」

おっ

あーッ
グッ

ぽちゃん

ぽちゃん



「週間後」

「おねえちゃん、自分の名前を言ってみて」

「生尾 奈帆」

「おじさん専用」

「オナホ宣言を」

「使われてます」

「おねえちゃん」

「おねえちゃん」

「おねえちゃん」

「おねえちゃん」

「おねえちゃん」

「おねえちゃん」

「おねえちゃん」

「おねえちゃん」

「おねえちゃん」

『ねえおじさん
お仕事の方は
どうなったの?』

『おエロいさん達には
好評だったんだけど
お偉いさん達からは
駄目出しされちゃって
ぼしやっちゃったよ!』

『当然と言えば
当然の結果かと
思いますかね!』

『おじさん
これからは
ちんちんの
幸せを皆に
分らせる
活動するよ』

『いいと思うよ!
それって慈善活動
ってやつだよね?』

『何か違う気が
するけど!』

れろれろ

『ところで本当に
弟にはなにもして
いないですよ?』

『してないよ
弟には』

こうして二人は催眠されたまま
時間が過ぎていく――







